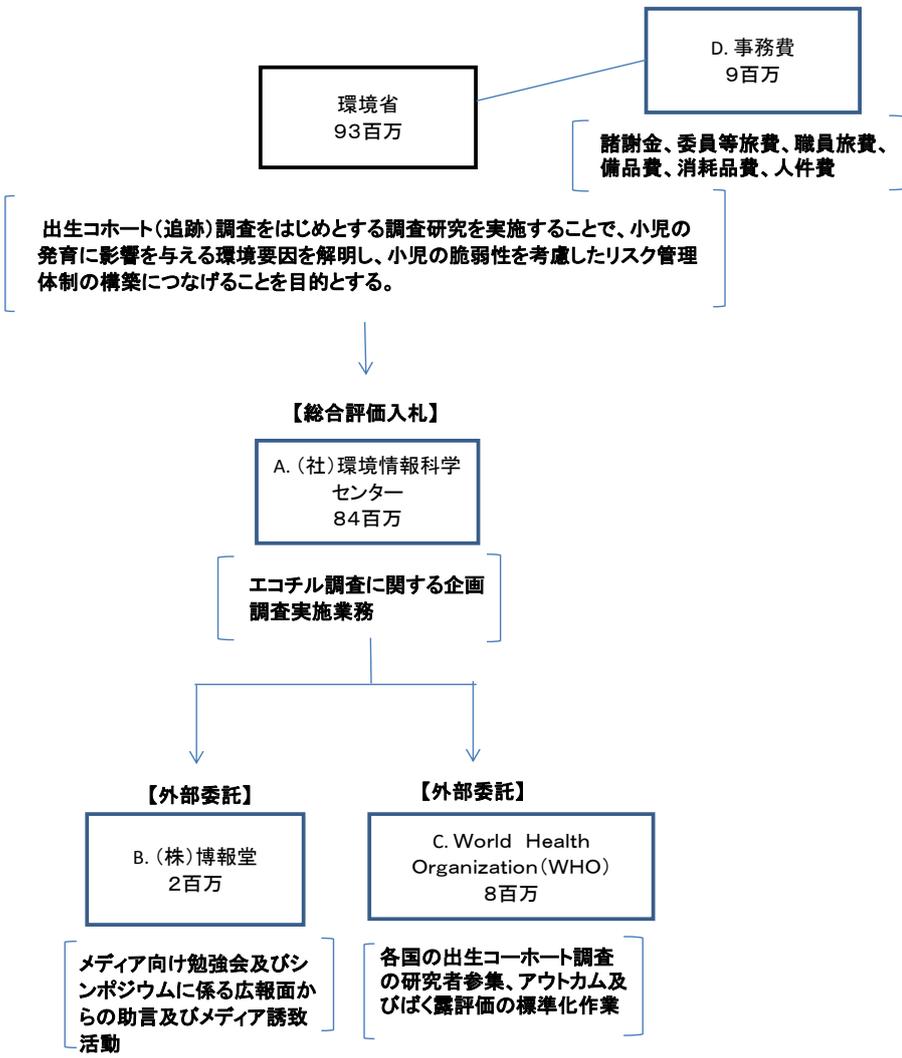


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)		担当部局	環境保健部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	環境リスク評価室	戸田 英作		
会計区分	一般会計		施策名	6-1 環境リスクの評価 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>全国で3年間に10万組の参加者を募り、13年間追跡する出生コホート(追跡)調査を実施することにより、小児の発育に影響を与える環境要因を解明することを目的とする。また、得られた知見を基に、リスク管理当局や事業者への情報提供を通じて、自主的取組への反映、化学物質規制の審査基準への反映、環境基準(水質、土壌)への反映等、適切なリスク管理体制の構築につなげることを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①企画立案・評価: エコチル調査の進捗の評価を行い、調査の全体設計に反映させる。 ②戦略的な広報: エコチル調査の進捗、成果について広報・普及啓発を行い、調査の円滑な実施に資する。 ③国際連携: 海外における大規模な出生コホートとの連携協力を行う。 ④ユニットセンター委託業務: 全国15か所のユニットセンターが調査対象地域において参加者募集・追跡調査等を行う。また、福島県下における対象地域を当初の14市町村から県下全域に広げる。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位: 百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	0	96	96	1,607	3,524
		補正予算	977	0	1,597	0	
		繰越し等	△633	633	△1,597	1,597	
		計	344	729	96	3,204	3,524
	執行額	136	443	93			
執行率 (%)	40(%)	61(%)	97(%)				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本調査は長期間にわたる疫学研究であり、調査結果として評価するためには、曝露と健康影響のデータがある程度そろふ必要があるため、現時点での把握が困難である。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	エコチル調査の参加者(親子)数(累積) (H23年1月末よりリクルート開始) ※パイロット調査 H21年2月よりリクルート開始(累積)	活動実績 (当初見込み)		453	3,208	30,626	-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	本調査は長期間にわたる疫学研究であり、リクルート数はその1ステップを示したものにすぎない。リクルートの他にもフォローアップ等が必要であり、これらが完了しなければ単位当たりコストの算出は困難である。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全研究諸謝金	1	1	福島県における調査地域拡大に係る増額			
	環境保全研究職員旅費	1	2				
	環境保全研究委員等旅費	1	1				
	公害調査費	80	77	人件費等見直しによる減額			
	公害調査等委託費	1,524	3,443	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野)1,084			
				(リクルート数、及びリクルートが完了した対象者の追跡調査費用に係る増額)			
計	1,607	3,524					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	2度に亘る事業仕分けおよび2か年連続の総合科学技術会議による優先度判定で高評価を得ている。政策目的の大規模調査であり、自治体や民間では実施不可能。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・競争入札により調査実施機関を選定。 ・調査実施体制・構造についてパブリックコメントを参考とし、外部評価体制の整備、国際機関との緊密な連携・情報交換を行うこととしている。直接的な受益者は「次世代の子どもたち」であるため、調査関係者に利害関係は発生しない。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・調査実施方法に代替の手段は存在しない。本邦で前例のない大規模かつ長期の調査を実施するため、パイロット調査の実施、国内外の先行調査における知見収集、広く学識経験者や一般の意見を募りながら、その手法や体制を検討してきた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「小児等の脆弱性を考慮したリスク評価検討調査(小児環境保健研究プロジェクト)」事業は21年度で終了し、22年度より「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」事業として進めてきた。 エコチル調査は、環境省の企画立案の下、独立行政法人国立環境研究所をコアセンターとして実施することとしており、独立行政法人制度の業務効率化の仕組みも活用しつつ、効果的かつ効率的に進めている。 平成24年3月末時点で、リクルート数は3万組をこえており、計画(10万組)の達成に向けて、今後さらなる広報・普及啓発に取り組む必要がある。あわせて、得られたデータをもとに可能な範囲での仮解析を行うことを検討している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	人件費を見直すことにより、概算要求額を縮減。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	210	平成23年行政事業レビュー	211

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(社)環境情報科学センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	エコチル調査に関する企画調査実施業務に係る人件費	32			
雑役務費	エコチル調査に関する企画調査実施業務に係る雑役務費	15			
その他	旅費	13			
その他	借料及び損料	2			
その他	会議費	2			
その他	印刷製本費	2			
その他	謝金	1			
物品購入	図書資料費	1			
その他	通信運搬費	1			
一般管理費		11			
消費税等	消費税・地方消費税	4			
計		84	計		0
B.(株)博報堂			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	メディア向け勉強会及びシンポジウムに係る広報面からの助言及びメディア誘致活動	2			
計		2	計		0
C.World Health Organization(WHO)□			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	各国の出生コホート調査の研究者参集、アウトカム及びばく露評価の標準化作業	8			
計		8	計		0
D.(株)グレイス			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	平成23年度小児環境保健に関する大規模疫学調査の研究開発に係る派遣業務	6			
計		6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)環境情報科学センター	エコチル調査に関する企画調査実施業務	84	1	98%
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)博報堂	メディア向け勉強会及びシンポジウムに係る広報面からの助言及びメディア誘致活動	2	-	-
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	World Health Organization(WHO)	メディア向け勉強会及びシンポジウムに係る広報面からの助言及びメディア誘致活動	8	-	-
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
2	(株)グレース	平成23年度小児環境保健に関する大規模疫学調査(エコチル調査)の研究開発に係る派遣業務	5.6	1	95%
3	個人A、他38件	エコチル調査に係る職員旅費	1.0	-	-
1	個人B	事務補佐員給与	0.7	-	-
4	個人C、他26件	検討会に係る委員等旅費	0.5	-	-
5	個人C、他26件	検討会に係る謝金	0.5	-	-
6	(株)三州社	リーフレット印刷・発送業務	0.4	-	-
7	(株)秋山商会	ソフトウェア、LAN機器購入	0.3	-	-
8	(株)三州社	ポスター印刷・発送業務	0.1	-	-
9	(株)NTTマーケティングアクト	電話会議サービス	0.1	-	-
10	廣済堂	サーバリース契約	0.1	-	-